



自民党 京都市会議員団 ニュース

令和元年(2019)6月30日発行

■発行人/橋村芳和
■編集委員/森田守、加藤昌洋、平山たかお
〒604-8571 京都市中京区河原町御池
TEL.075(222)3718~23 FAX.075(257)3091
http://jimin-kyoto.jp/

No.64



歴史体感プログラムが実施される二条城

5月市会 補正予算を可決

またきち
(京都市会マスコット
キャラクター)



補正額 2億3700万円

今回の5月市会では、国の新たな補助金を活用した、外国籍住民への相談体制の拡充や二条城の歴史体感プログラム事業、高齢者福祉施設への非常用自家発電設備の整備に対する助成など、総額2億3700万円の補正予算について審議し、可決しました。公共施設の緊急耐震対策で

は、過去に委託して実施した耐震診断結果に不備が発覚したことを受け、学校体育館耐震改修及び耐震診断書再点検が今後実施されます。自民党議員団としては一刻も早く、耐震工事及び再点検を行うとともに、二度と同様の事態が発生しないように、京都市に対して強く求めました。

京都市多文化共生総合相談ワンストップセンター(仮称)の設置・運営	13,000千円
Living History in 二条城 ～生きた歴史体感プログラム～	24,000千円
高齢者福祉施設 非常用自家発電設備整備助成	68,000千円
広域型特別養護老人ホーム整備助成	2,000千円
公共施設の緊急耐震対策 (学校体育館耐震改修、耐震診断書再点検)	130,000千円

新任期に当たり 議員団としての 声明を公表

自由民主党京都市会議員団は、去る4月の京都市議会議員選挙において、市民の皆様から多くの負託を賜り、引き続き、京都市会第一党の座を堅持することができました。
我々議員団は、責任ある

市会最大会派としての決意を声明として発表致しましたので、ここに紹介させていただきます。

～ 声明 ～

今回の京都市議会議員一般選挙において、我が自由民主党は、結成以来引き続き京都市会第一党の地位を確保した。

このことは、市民の自民党に対する実績の評価と熱い期待の表れであると厳粛に受け止め、総力を挙げて市会で活発な議論を行い、信託に応える決意である。

今般、同志が相寄り「自由民主党京都市会議員団」を結成した。

我々は、昭和、平成、そして令和の時代においても、市政を支える責任ある市会最大会派として、その使命に徹し、防災・減災をはじめとした安心・安全対策の推進、健康長寿の取組や子育て・教育環境の充実、京都の強みを生かした地域経済の活性化に全力を挙げて取り組むべく、一層の奮闘を誓うものである。

今後とも我が自由民主党京都市会議員団に対する市民の皆様により一層のご支持ご支援を切望する。

平成31年4月30日

自由民主党京都市会議員団

五つの常任委員会 議論をリード!

総務消防委員会

将来世代に対して責任ある財政運営や防災・減災対策を含む消防行政、東京一極集中の是正・文化庁の京都移転に向けた取組等について議論します。

文化環境委員会

地域コミュニティの活性化や安心安全に向けた取組、文化・スポーツの振興、ごみ・食品ロスの削減、地球温暖化対策等について議論し

ます。

教育福祉委員会

すべての市民の皆さんが暮らしやすい社会となるよう、子育て・学校教育・医療・介護施策の充実や障がい者福祉の増進、健康寿命の延伸等について議論します。

まちづくり委員会

持続可能な京都市のまちづくりに向け、道路インフ

令和の時代を切り開く

らの維持充実や歩くまち京都の推進、空き家対策、さらになん進都をはじめとした活力ある南部地域について議論します。

産業交通水道委員会

市民の足である市バス・地下鉄の運営やライフラインである上下水道事業の運営、市内産業の振興、市民生活と観光の調和等について議論します。

災害に強いまちづくり実現急務

道路防災強化予算3割増 停電早期解消へ関電との連携強化

●伏見区

橋村芳和議員

■橋村芳和議員（質問） 昨年の台風21号による倒木の影響で、私の地元の醍醐でも2週間近くもの停電を余儀なくされた地区がありました。災害に強いまちづくりに向け、道路における防災・減災対策をどのように進められるのでしょうか。

対策を講じております。

さらに、災害に伴う停電の早期解消のため、関西電力に強く申入れを行い、最前線の土木事務所と関電営業所とのネットワークを強化し、道路啓開の優先順位など復旧方針を速やかに決定する調整会議を新たに設置するなど、連携強化を図ったところです。

放課後等デイサービス 総量規制で偏在解消

■門川大作市長（答弁） 災害の未然防止が重要であり、今年度は、道路の防災機能強化に係る予算を前年度比3割増とし、孤立化など重大な影響を受ける路線について、重点的かつスピード感を持って、

■橋村芳和議員（質問） 放課後等デイサービスについて、市内地域を細分化して必要量を設定し、それを上回る場合は事業者指定を行わない「総量規制」を早急に導入すべきです。

また、不適切な事業所を一掃し、本市の療育の底上げを図るためにも、巡回指導事業を効果的に活用すべきですが、いかがですか。

- 橋村芳和議員の質問項目●
- 1 門川市政3期4年目の決意と取組について
- 2 新景観政策の更なる進化について
- 3 道路における防災・減災対策について
- 4 放課後等デイサービスの取組強化について
- 5 向島秀蓮小中学校の開校を踏まえた、今後の小中一貫教育の展開について
- 6 児童虐待防止の取組について（要望）

■門川大作市長（答弁） 全国指定都市に先駆け年内には偏在解消に向け、サービスの供給量が必要量の見込みを超える場合に、区役所・支所単位を基本とした総量規制を導入

し、事業所が不足している地域への参入を促します。

支援の質の確保については、新たに支援スキルや経験を有する法人による事業所への巡回指導を導入し、質の高い支援の実現を図ります。さらに、監査体制については、本年4月に15名に強化し、巡回指導で把握した状況を日々の監査に還元して、厳正かつ丁寧な監査を行います。

向島秀蓮小中モデル 地域型教育を先取

■橋村芳和議員（質問） 向島秀蓮小中学校の開校で示された「小中一貫教育を核とした地域ぐるみの教育」について、その成果と課題、今後、全市



向島秀蓮小中学校（南東側外観）

の教育の充実にどうつなげていけるのか、伺います。

■在田正秀教育長（答弁） 向島秀蓮小中学校では、地域、保護者の皆様と共に目指す子ども像や、地域貢献の在り方を考える総合学習等、学校の

改元を機に双京構想の原点へ

皇室の弥栄と国家機能分担 市民の機運高め、府・市・商議所連携で

●中京区

津田大三議員

■津田大三議員（質問） 「平成」の時代の終わりとともに、「令和」の新しい御代が始まりました。前天皇が御譲位されることにより、光格天皇以来、202年ぶりに上皇様が誕生されました。御皇室の弥栄にとつて大変喜ばしい事であると同時に、京都にとつては双京構想を見直す大きな岐路に立っていると考えます。目指すべきは何か、これまでの取組において何が出来たのか、何が出来ていないのか、今一度振り返る必要があります。京都市が果たすべき役割、今後の新たな取組についてお聞かせください。

教育構想について議論を重ね、小1からの英語活動、5・6年での教科担任制導入や5年からの中学校生徒会や部活への参加等、時代を先取りする取組を展開しております。今後とも、先進的な取組や

小中一貫教育に関する各校の取組について、新たに指導資料等を作成し、全市研修会を開催するなどして、学校・家庭・地域が協働して子どもを育む、本市ならではの小中一貫教育を一層推進します。

■門川大作市長（答弁） 双京構想は、日本の大切な皇室の弥栄のために、皇室の方に京都にもお住まいいただき、東

京と京都が我が国の都としての機能を双方で果たそうとするものでございます。令和3年度中には、文化庁が京都に



双京構想連続講座の様子

良い使い手が文化の 良い作り手を育む

全面的に移転し、京都は名実ともに日本の文化の都となり、双京構想の実現に向けた本市の役割は益々大きくなってまいります。今後とも、皇室ゆかりの地・京都として、京都市、京都府、商工会議所が連携し、新しい時代にふさわしい宮中文化や皇室を身近に感じられる取組を展開し市民等の機運を醸成するとともに、国への働きかけを強めるなど、双京構想の実現に取り組んでまいります。

■津田大三議員（質問） 私は、文化庁の京都への移転について、文化庁と京都市民の双方に大変プラスになる、あるいはプラスにしなければならぬと考えています。京都に移転してくる意味は、トップダウンからボトムアップに変わることだと思っています。良い使い手の目線から文化行政

- 津田大三議員の質問項目●
- 1 双京構想の実現に向けた取組の振り返りと今後について
- 2 文化庁移転を契機とした文化行政の進展について
- 3 老舗や100年企業を模範とした地域企業の活性化について
- 4 レジリエンス戦略と京都が培ってきた生活文化について

【代表質問】 5月市会 (5月27日)

集中する観光客の回遊・分散化へ

地域活性化に繋ぐ観光

市民生活との調和を図る施策を展開

●右京区

森田守議員

■森田守議員 (質問) 近年、宿泊施設が急増し、価格競争が生じているという報道も耳にします。平成28年10月に京都市宿泊施設拡充・誘致方針策定後、現在、宿泊施設の状態は大きく変わってきていると感じますが、その点についての市長のお考え、そして観

光地の分散化による地域活性化を図る必要性についても合わせてお聞かせください。

■門川大作市長 (答弁) 宿泊施設は、約3万室から約4万6千室に増加しており、施設数としては満たされつつあると考えております。しかしながら、施設の多くが、京都駅周辺や市内中心部に集中するなど地域的な偏在が課題となっております。

公共工事は市内産木材の使用努力を

■森田守議員 (質問) 京北地域の過疎対策の観点から、さらには地域の将来を担う子どもたちの教育施設の建設で

地域の特性に応じた、効果的な施策を実施していくため、「市民生活と調和した持続可能な観光都市」推進プロジェクトチームを設置し、市民生活と観光との調和と各地域における持続可能な発展の実現に向け、総合的な施策を展開してまいります。

■門川大作市長 (答弁) 京北小中一貫教育校の工事は、国際協定WTOの対象で、木材の産

京北小中一貫校のイメージ図



第84代京都市会議長 山本 恵一

令和元年定例会5月開会市会におきまして、歴史と伝統ある第84代京都市会議長に就任させていただきました。大変光栄でありますとともに、令和元年、また、京都市会130周年という大きな区切りの年であり、身の引き締まる思いでありま

伝わる市会に

す。市長とともに市民の代表である議会は、一元代表制の下、市長等の執行機関に対する

チェック機能の強化はもとより、民意を反映する議会の特色を生かして、執行機関では成し得ない政策提案を行っていくなど、議会活動を活性化していくことが、ますます重要になってきております。

また、市民の皆様には、議会の活動をもっと知って、理解していただくために、しっかりと情報を発信していくとともに、わかりやすく伝える工夫を重ね、京都市会がこれまで

以上に身近に感じていただけるように取り組んでまいります。

今後とも更なる市政発展のため、門川市長としっかりと議論をしっかりと連携を図り、自民党京都市会議員団をはじめとする市会議員とともに誠心誠意全力を傾注してまいりますので、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

地指定は禁止されていますが、市内産木材「みやこ杣木」の使用を努力義務とし、工事中の現在も、「みやこ杣木」の更なる使用について、木材の産地、京北の学校であることを踏まえ、事業者と協議を積み重ねているところであります。さらに、これから設計する付属棟は、「みやこ杣木」による木造といたします。

今後とも、議員の御指摘も踏まえ、公共建築物における市内産木材の積極的利用に努め、更なる利用拡大のため、従来の枠組みに捉われず、常に限界にチャレンジし、しっかりと取り組んでまいります。

●森田守議員の質問項目●

- 1 市民生活と観光の調和に係る取組について
2 健康長寿に資する歯科口腔対策の推進について
3 保育園や幼稚園等の送迎、散歩コースの安全対策について
4 消防団総合査閲における小型ポンプ操法について
5 公共建築物における市内産木材の利用促進について

市政のリーダーシップ 自民党市会議員団

- 議長 山本 恵一
■副議長 橋村 芳和
■監査委員 田中 明秀
■副監査委員 椋田 隆知
■関西広域連合議員 中村 三之助
■政策委員長 しまもと 京司
■京都府後期高齢者医療広域連合議員 下村 あきら

Table with columns for committees: 常任委員会 (総務消防, 文化環境, 教育福祉, まちづくり, 産業交通水道), 市会運営委員会, 特別委員会 (予算, 決算). Lists members for each committee.

*市会運営委員会の津田大三、寺田一博は理事
*予算決算特別委員会の副委員長欄の○内数字は分科会

北区 山本 恵一



「自助」「共助」「公助」が発揮され、いかなる危機も乗り越えていく「レジリエント」なまちづくりを構築し災害が発生しやうい箇所防災工事を重点とし、現場での円滑な連携ができる体制づくりを。

上京区 寺田 一博



地域力を高めて健康長寿の街を構築する。また文化観光都市として市民目線の政策を推進し、京都の歴史的な街並みを守り、次世代へ安心安全な街を受け継ぐことができよう尽力します。

左京区 豊田 恵美



女性の視点でしか解決に向かえない社会的課題は山積しており、女性の社会活躍と政治参画により、社会はよりよく豊かになります。女性が輝ける躍動感溢れる社会の実現を目指します。

中京区 加藤 昌洋



持続可能なまちづくりに於いて重要な課題となる安定した財政の確立に向けて、税収の更なる増加や宿泊税に続く新たな財源の確保について、議会での議論を深め、前進させたい。

山科区 吉井あきら



一五〇年前、遷都により京都の人口は激減。先人たちは町の復活は子どもたちを豊かに育むことと考へ、自分たちで番組小学校の建設↓町は復活。歴史に学び、更に育みと教育に力を注ぎます。

南区 しまもと京司



徹底した経済政策による市内の好循環景気を喚起し、私たち全市民の暮らしと福祉・教育の高水準を目指すとともに高齢化社会における安全性と人の移動・物流・環境の向上に努めます。

右京区 井上よしひろ



子育て環境日本一を目指すとともに、地域防災に強いまちづくりなどに取り組み、子ども達や高齢の方々が安心して暮らせるまちづくりを皆さんとともに進めます。

伏見区 繁 隆夫



地場産業の振興、福祉・教育の充実、都市基盤の整備はもとより、未来の伏見区の発展を見据えて、JR稲荷駅西口改札通路の整備や深草での疏水通船、国有地の活用などに取り組みます。

令和の時代の幕開け 輝き続ける京都の実現に向けて!

実現に向けて!



マツリヌス (京都府会マスコットキャラクター) 新任期を迎え、力を入れて取り組みたい政策について自民党議員に聞きました。



またきち (京都市会マスコットキャラクター)

上京区 中村三之助



私のスローガンである「いつまでも住み続けたい」と思える街づくりと「地域コミュニティの再構築は少し昔の価値観から」の政治信条のもと、これまで通り「ポストにポスト」で頑張って参ります。

左京区 さくらい泰広



昨年の夏から秋にかけて、台風や豪雨により左京区内各地で甚大な被害が発生しました。自然災害から区民の皆様の安心安全、命を守るまちづくりに丁目番地を取り組めます。

中京区 津田 大三



少子化対策最優先は私の持論。子供達が地域で元気に遊び、それを見守る事でお年寄りが元気になる。そして生まれ育った地域を大切に想う心を育む。そんな当たり前を大切に参ります。

山科区 富 きくお



益々不安定さを増す世界情勢や経済、未曾有の自然災害。急速に進む少子高齢社会等、厳しい状況を乗り越え私達の社会が未来に向けて持続可能となるよう京都・山科のまちづくりに取り組みます。

東山区 平山たかお



市民の皆様が暮らしやすい生活基盤の整備、市バスの混雑緩和、無電柱化の推進、東大路通の整備。若年人口増加の為に子育て支援など。諸先輩と若者との架け橋として令和の時代を切り拓く。

下京区 下村あきら



災害の多発した平成から令和の時代へ。避難施設等の耐震化の促進、人に優しい道路環境整備(無電柱化)など、私のライフワークである安心・安全で持続可能なまちづくりに取り組みます。

右京区 田中たかひ



私は一貫して京都の未来には、住民と地域力が何よりも必要と訴えて参りました。京都の未来のために、関係するすべての力を引き出す環境づくりに引き続き、取り組んで参ります。

右京区 森田 守



京都市においても急激に人口減少が進行する中で、閉塞感を打ち破りそれぞれが自信や個性に満ち溢れた自分らしく人生を送れるように、持続可能な社会を構築します。

西京区 田中 明秀



一部地域に集中している観光客の分散に向け、市内周辺部の新たな観光資源の発掘とそこへ行く為の交通手段の充実を図る。外国人だけではなく国内のリピーターを増やしていかなければならない。

西京区 西村 義直



これまでも様々な政策を通して市民生活の向上への取組に繋がるよう活動させていた中で、引き続き安心安全を柱に一四七万市民の更なる福祉が前進するよう市民目線でより良い政策を目指します。

伏見区 橋村 芳和



今年伏見市誕生から90年の節目の年。横大路ではクリーンセンターに併設された環境学習施設がスタート。環境先進行政区を標榜する伏見区から京都市の環境政策をリードする取組を推進。

伏見区 みちはた弘之



仕事と家庭の調和に加え、地域活動に参加し、心豊かな人生を送れるよう、子宝社会の推進、豊かな長寿社会の保障、地元の魅力拡大、安心安全社会の向上について取り組んでまいります。